

令和元年度 金沢漢方医学研究会の活動報告

平成 24 年 11 月に緩和医療における漢方医学の教育と普及を目的に発足した「金沢漢方医学研究会」は、令和元年度も石川県高度・専門医療人材養成支援事業費補助金を受け、漢方医学と現代医学の融合的知識を持つ医療人材の育成を目的とする活動を行って参りました。

例年ですと、年度末に活動報告を兼ねた県民公開講座を開催し、当会の活動を皆さまにお知らせできるのですが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、大人数での集会を行うことを自粛いたしましたので、簡単ではございますが活動報告をさせていただきたいと思っております。

【医療従事者対象の講演会の開催】

今年度は 6 回の医療従事者対象の講演会を開催いたしました。

鍼灸、がん予防医学、在宅医療、小児医療、の各分野で活躍される先生方をお招きした講演会は毎回大変好評で、学びを深める会となりました。

多くの医療関係者が漢方医学の効果に期待していることが感じ取れましたが、漢方医学を医療現場で実践できる人材がまだ不足しているため、より実践に役立つ漢方医学の研究会を行い、更なる人材育成に努めて参ります。また、がんだけでなく様々な疾患の在宅患者や高齢者に対しても漢方医学が有用なのではないかという意見を参加者から多数いただいたので、今後は、がん患者に対する緩和ケアと共により広い緩和ケアへ活動を広げ、より多くの患者にとって利益になるよう努めていきたいという思いを新たにいたしました。

【県民公開講座】

3 月 20 日（祝）に開催予定でした県民向けの「お灸教室」を中止といたしましたところ、大変残念である旨のお言葉を多数いただき、漢方医学と鍼灸に対する意識や期待感が年々高まってきていることを改めて実感いたしました。

がんまたはがん治療に伴う倦怠感の改善には、鍼灸治療も有用であると考えられています。化学療法に関連した嘔気・嘔吐、末梢神経障害に対する効果、呼吸困難に対する効果、がん性疼痛に対する効果などが評価されています。一部の症状が改善されるのみならず、体全体の状態が複合的に向上することが知られています。

また、お灸は家庭でもできるため、疾病の予防的セルフケアとしても使用することができます。家族も行えるケアであり、お灸を通じて患者と家族の苦痛を緩和し、それぞれの立場で質の高い生活を送ることができることも期待されています。

今後も鍼灸治療分野の研究をすすめ、活動の場を広げていきたいと思っております。

令和 2 年 3 月 31 日